

# 大丸有版MaaS事業

多種多様なモビリティ及び、目的地となる商業店舗やワークスペースなどが多数存在する大丸有地区において、交通手段を含めた人の一連の行動データを連携させ、エリアサービスと一貫したハーフマイル移動の支援を行うとともに、情報提供により誘発される行動変容について分析し、さらに魅力的なラストハーフマイルエリアを目指す。

<b>協議会の構成員</b>	大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム、株式会社 MaaS Tech Japan 【幹事】一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、株式会社 MaaS Tech Japan 【主なモビリティWGメンバー】BOLDLY株式会社、東京地下鉄株式会社、日の丸自動車興業株式会社、株式会社Luup、株式会社ドコモ・バイクシェア		<div style="text-align: center;"> <h3>取組イメージ</h3> </div>
<b>地域課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティビジョン・実行計画」において、スマートシティ化により最適化すべき課題を「地域の発展的課題」として定めている。ここで求める日常・非日常におけるエリアのポテンシャルの拡大・レジリエンスの増強を多様なモビリティサービス提供を軸に解決する。</li> <li>現在は、エリア内外の交通事業者の運行データ、混雑データや移動者の移動実態のデータを統合的に把握する手段がなく発展的課題解決のために、それらを踏まえた情報案内、施策分析・評価のできるツールが必要。</li> </ul>		
<b>事業概要</b>	期間	2021年12月15日～2022年2月28日	
エリア	大手町・丸の内・有楽町地区（大丸有地区）		
MaaSシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通情報の統合データ基盤の構築</li> <li>交通情報を可視化する案内ダッシュボードの構築</li> <li>エリアマネ運営ツールとしての評価・分析ダッシュボードの構築</li> <li>実証実験アプリ(既存)のMaasアプリ機能の付加</li> </ul>		
交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリア内循環バス</li> <li>パーソナルモビリティ</li> <li>鉄道等</li> </ul>		
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>大丸有エリア内の施設情報やイベント情報等とも連携（エリアで構築の「大丸有版都市OS」と連携）</li> </ul>		
<b>検証内容</b>	大丸有エリアの交通データをマルチモデルに統合し、エリアの個人・企業向けサービスを可能にする①MaaSデータ統合基盤の整備とともに、②案内ダッシュボード、③MaaSアプリの整備を通じて交通の運行情報やエリア情報をユーザーに提供する。さらに④評価・分析ダッシュボードの構築を通じて交通やエリアサービスの利用実態を把握・分析できるようにする。 ※評価・分析ダッシュボードイメージ		
<b>検証結果</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>大丸有版都市 OS と MaaS データ統合基盤の連携により、エリアの施設情報やイベント情報、運行情報等を 1 つのアプリ Map 上で閲覧することが可能となった。集約された情報をユーザーに提供することで、魅力的なラストハーフマイルエリア(魅力的な移動・活動の選択肢にあふれた徒歩圏が連担・凝縮するエリア)の構築に資することとなった。</li> <li>ユーザーの利用履歴をもとに、評価・分析ダッシュボードを構築。エリア内循環バスの乗降傾向等、交通やエリアサービスの利用実態を把握・分析し、今後のエリアマネジメント活動に活かしていく。</li> </ul>
<b>今後の方向性</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の成果を踏まえながら、MaaSに特化した評価・分析ダッシュボードと、従来より大丸有スマートシティとして目指す「エリアマネ・運営ツール」とのダッシュボード間の連携・標準化の知見を得ることで、大丸有エリアで目指すエリアDXを継続して推進する。</li> <li>交通データのほか、施設データなどの他分野のデータを利活用し、エリアの個人・企業向けサービスやエリアマネジメントを高度化するエリア管理者向けサービスの構築を進める。</li> </ul>